

障害者の生涯学習の推進を担う人材育成の在り方検討会(第2回)議論要点

【アンケート結果から】

＜必要な人材像＞

- ①社会教育主事などの専門職に、障害者の生涯学習に関するさらなる理解を
- ②一方的ではなく、当事者と共に学び合っていくという観点を大切にできる人
- ③学習者の特性を理解したうえでの学びの支援と、その学びを支援するために巻き込む層や分野の選択という2点については、専門性やスキルが必要では
- ④在るべき人材は、養成講座などではなく、人材育成も意図した実践の中で育てていく必要があるのではないか

＜どのような報告としてまとめるか＞

- ①アンケート結果をただ羅列するのではなく、アンケート結果を踏まえた、学びの場づくりに関するガイドラインやチェックリストのような形式でまとめるのも良い
- ②「障害者の生涯学習推進を担う人材に必要なスキル」についての報告書ではなく、学びの場における環境づくりに主眼を置いた方がよいのではないか
- ③重要な観点を事例集に組み込むことでアウトプットしていければ

＜その他＞

- ①学校教育では、主体的な学びの基礎を培うことが目標であるが、今後は社会教育的な学びの手法を取り入れつつ、先生も共に学び合っていくことも必要
- ②障害者と接した体験など、ベースになるものがあると当事者との共感・理解が深まる。一方で、そのような体験がないと、ボランティアとしての参画が見込めない可能性も
- ③生涯にわたって学び続けるための準備が当事者に不足している現状がある、その不足は学校教育の現状も関係している

【事例集作成に向けて】

＜事例集の内容に関して＞

- ①講座紹介だけではなく、障害のある方が参画することで活性化した会議体や取組などの事例も盛り込めると良い
- ②事例を読む際の視点・ポイント・アドバイスなどを明確にさせるページがあると良い
- ③事例には、そのプログラムで育った人材と、その経過に関する紹介もあると良い
- ④事業主体別の紹介も良いが、特徴ごとにピックアップして掲載するのはどうか
- ⑤事例を紹介する際には、その取組がそこまで到達するまでのプロセスも示せると良い

＜動画コンテンツについて＞

- ①実践研究委託団体にそれぞれ撮影・製作をしてもらうのも手ではないか

＜その他＞

- ①社会教育分野に限定するタイトルではなくで、“地域”や“生活”など、様々な分野に横断して関係するワードが入ってくると良い
- ②各事例が2頁では足りないのではないか、4頁あると充実するように思う
- ③ポータルサイトの有無によって、その事例集で完結するものにするのか、誘導型にするのかが変わってくるのではないか